

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 権現福祉会	代表者	松本 善孝	法人・ 事業所 の特徴	高齢者・子供・障害児者の方々を対象にした複合施設である「ふくしステーション千の穂」の1階にあり、利用者の住み慣れた自宅や地域で暮らしていきたいという思いを大切に、家族と協力しながら日々のケアを行っている。事業所のみでの行事やイベントの参加にこわえ、施設内の事業所間の交流や地域の行事、買い物等に出かけ地域との交流を図っている。また、八代市の災害時福祉避難所に登録しており、地域の福祉の拠点として活動している。
事業所名	小規模多機能ホーム こうだ	管理者	服部 和幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議の参加予定者を組む際、職員による勉強会も予定にいい調整する。	運営推進会議への出席は出来ており今後も継続していく。看・介護職員の勉強会を会議の場で行えた。地域の活動への参加は数が少なかったため、積極的な参加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 職員が順番に交代で参加できている。 全職員で事業所評価に取り組んでいる。 別の事業所の職員がマナー違反しているのを見たので安全運転を心掛けてほしい。 	家族様や地域の生の声を共有することでサービスの質の確保ができるように、順番に職員全員が運営推進会議への参加ができるように調整を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	職員が利用者様に背を向ける配置になっていた環境面があった為、今回改善した。引き続き環境面に対して気付いた時に即座に対応していく。	基本的に座席の向きを外の景色が見える方を向け、導線を確保しつつ配置する。利用者様の性格等を考慮しトラブルにならないよう配置を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 居室も景色を眺めやすい。 座席の配置が学校のような配置なのが良い。 	季節に合ったしつらえで利用者様に楽しんで頂く。利用者様の作品を飾るスペースを活用する。
C. 事業所と地域のかかわり	いきいきサロン等、地域のイベントに参加させて頂き、交流を図ると共に事業所の認知度向上に努める。	地域イベントや季節に応じた野外活動へは計画を立てて、利用者様全体的に満遍なく提供することができている。	<ul style="list-style-type: none"> 何か地域のイベント事等があったらお知らせします。 	地域のいきいきサロンや行事ごとに出向き介護の出前講座を実施する事で直接地域との関わる機会を増やし、事業所の役割や強みを知ってもらおう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	それぞれの利用者様の暮らす地域とどのような関わりが持てるのか、具体的に情報収集を行う。	配食サービスやみまもりネットワークなどの地域資源の把握が出来ており、運営推進会議への参加で外部の方々や民生委員の方々とのお話を通じて勉強になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざした支援・関わりが出来ていると思います。 この地域にこうだがあって助かっています。 	市報やインターネット、民生委員の方と交流することで情報収集を行った。配食サービスやみまもりネットワークなどの地域資源の活用を行いながら利用者様の暮らす地域での生活をサポートしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域住民への情報発信を強化し、利用者の声や日常の活動、イベントの様子を写真や動画で積極的に発信する。地域行事と連携し、共同イベントやボランティア活動を増やして地域とのつながりを深める。SNSや事業所新聞を活用し、多様な手段で事業所の取り組みを発信し、地域との信頼関係をさらに強化する。	運営推進会議での意見を踏まえ、利用者の声や日常活動の様子を写真・動画でSNSや事業所新聞に掲載し、事業所の取り組みを地域へ発信することができた。これにより事業所の活動内容が分かりやすく伝わり、地域住民からの関心や問い合わせも増え、一定の成果が得られた。一方、地域行事やボランティアとの継続的な連携には課題が残る。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の活動の新聞をもらっているので事業所の様子がすぐわかります。 	地域行事やいきいきサロンへ積極的に参加し、事業所のPRや介護・認知症に関する出前講座を開催することで、地域住民が小規模多機能居宅介護を身近に感じられる機会を増やす。あわせて、参加の様子や住民との交流内容をSNSや事業所新聞で発信し、事業所の役割や強みを分かりやすく伝える。地域との信頼関係を深め、相談しやすい事業所づくりを目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時の連絡体制を強化し、従業員や関係者への多様な連絡手段を導入。非常用備品の点検・更新を定期的実施し、管理体制を強化。防災訓練を年2回以上実施し、実際の災害対応能力を高める。これにより、災害時の迅速な対応と利用者・家族の安心を確保する。	業務継続計画（BCP）に基づき、災害発生時の連絡体制や役割分担を確認し、職員間および関係機関との連絡方法を明確にすることができた。災害時対応訓練も定期的実施し、訓練後の振り返りにより課題の共有と評価を行っている。また、非常用備品についても必要物品の確認と整備を進め、管理状況の把握ができている。今後も継続的な訓練と見直しを行い、実効性の高い災害対策の維持に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 身近に福祉避難所があるので万が一の時も安心です。 災害訓練に参加してきちんと訓練されていると思いました。 	災害発生時には、まず職員・利用者それぞれが自分の身を守る行動を最優先とし、シェイクアウトの徹底、安否確認、負傷者対応、建物被害の確認等、業務継続計画（BCP）に基づき確実に実施する。また、地震リスクや想定被害についてハザードマップを活用し、事業所周辺の危険箇所や避難経路を職員間で共有する。定期的な研修と訓練を通じて防災意識を高め、災害対応力の向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月21日 金曜日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10人	7人			17人

前回の改善計画

3日以内で回覧し、できていない職員に対しては全職員が声かけ行う事で周知徹底を図る。
ご家族とお会いする機会が少ないご家庭に関しては、連絡帳等活用し今後も情報共有行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

3日以内で回覧という目標に対し、休日や欠勤等で遅延する事があり、全職員達成とはいかなかった。
お会いする機会が少ないご家庭との情報共有については、連絡帳活用や管理者、計画作成者との情報共有により円滑に行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9人	8人			17人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	13人	1人		17人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	10人	7人			17人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9人	8人			17人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の生活状況、既往歴、日常生活レベルなどの情報を、カルテ、申し送りで確認し多角的情報把握をしている。
利用開始直後の利用者に対し、情報との相違がないかを念頭に置き、注意深く接する習慣ができています。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

休日や欠勤にて3日以内での回覧ができず遅延する事があった。また、読んでいない職員への声掛けやカルテへの情報追記といった情報共有を担保する行動が不足していた。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

出勤時に必ず申し送りや回覧を確認し、情報共有の抜けを防ぐ。また、回覧が滞っている職員へは相互に声掛けを行い、情報の周知を徹底する。新規利用者の情報については、各自で内容を確認し、不明点は速やかにケアマネに確認を行いサービスの質を維持する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10人	7人			17人

前回の改善計画

隙間時間を活用し、手の空いた職員に個別訓練の指示を出すことで継続した実施ができる。訓練に拒否がある場合は、声掛けのアプローチを変えて対応行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

各職員が隙間時間を活用し、個別訓練を実施する事ができた。拒否時のアプローチ方法については、拒否が完全に無くなった訳ではないが、職員が交代する、声掛け内容を変更する等の工夫を行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	9人	8人			17人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	8人	9人			17人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	8人	9人			17人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7人	10人			17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

刻一刻と変化する利用者の状況を捉え、把握できた範囲で即座に対応し支援方法を変える対応ができている。訓練に関しては、表情や声のトーンなどの細かな変化に注意を払い、質の高いコミュニケーションを心掛け、実施に向けて対応する事ができた。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

担当外のお客様のニーズ把握が不足しており、日常生活維持に偏りがちになる等、本人の目標への意識的な関わりが十分とはいえない。新人職員も増え、情報不足と知識不足からミーティングでの発言が受け身に留まっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

訓練内容を担当が都度更新し、見える化の継続をする。さらに、本人のゴール(目標)も追記し何の為に訓練を行っているのかを考え対応しながら質を高めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

3. 日常生活の支援

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	9人			17人

前回の改善計画

「以前の暮らし方」について、各担当分は最低5個は把握するようにする。コミュニケーションを取る事で情報収集し、変更分は都度カルテに赤色で追記していき、情報更新を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

担当分の5個把握について、すぐには挙げられない職員もいる状況であった。コミュニケーションは取っているが、カルテへの追記が不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	6人	5人	6人		17人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11人	6人			17人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	14人			17人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8人	9人			17人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	9人	8人			17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

表情や声のトーンにも気を配り、利用者の体調変化を早期に察知し、気づきを速やかに報告・共有できている。基礎介護に加え、独居の方の食事の確保・管理や自助具の使用提案など、個人の状況に応じた細やかな支援ができている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

カルテへの赤字での情報追記が漏れるなど、情報共有が不十分と感じる部分があった。また、生活歴の把握が難しく5個以上の情報を挙げる事ができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新しい情報や変更分は都度赤字で追記していく事の再徹底。担当以外でもその時に対応した職員が行うようにすることで漏れを防ぐ。隙間時間に担当のカルテをこまめに確認しながら、5個以上の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10人	7人			17人

前回の改善計画

引き続き運営推進会議に交代で職員が出席し、民生委員の方との交流の機会を作る。地域の活動に出向いたり、実際の様子を見るなどしながら地域との密着を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議への出席は出来ており今後も継続していく。地域への活動への参加は数少なかったため、積極的な参加を目指す。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5人	11人	1人		17人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	6人	11人			17人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5人	9人	3人		17人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5人	6人	6人		17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域資源の把握が出来ており、運営推進会議への参加の機会外部の方々や民生委員の方々との会話を通じて勉強になっている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域で行われている活動へ実際に出向いたり、それらへの参加が達成できなかった。これから、地域資源であるいきいきサロンへ参加できるよう運営推進会議等で民生委員の方々と情報共有を行い、参加に繋げていく。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

運営推進会議に交代で看介護職員も出席することを継続して行い、地域の方や民生委員の方との交流を図り実際の意見を聞く。本人の意思を尊重した支援ができる様、インフォーマルサービス等の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	9人	8人			17人

前回の改善計画	地域イベントの参加へはADLの低いご利用者へも積極的にご案内し、ご利用者へ満遍なく提供できるように努める。体調の変化だけでなく習慣化した訴えの中に変化がないか注意深く傾聴することを心がける
前回の改善計画に対する取組み結果	地域イベントや季節に応じた野外活動へは計画を立て満遍なく提供することができている。ご利用者様の変化に気づき柔軟な対応ができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	9人	8人			17人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9人	8人			17人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	12人			17人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7人	10人			17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ニーズに応じて、通い・訪問・泊りが適宜適切に提供できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者様のその時の状態に合わせた対応方法は何が優先になるのかが職員によって差があり対応や反応に差が出てしまうこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
各職員は、受け持つ担当のご利用者様のニーズを把握し、チームで個別ケアができる様、全体で共有していく。認知症の理解を深め、その人らしさを大切に支援に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

6. 連携・協働

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		9人	8人		17人

前回の改善計画

地域ニーズに応じた出前講座や交流イベントを年間3回以上開催し、地域住民と利用者の交流機会を増やす。
年1回地域のいきいきサロンと事業所が協力してイベントを開催し、双方の交流を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果

交流イベントの開催実現は難しかった。初歩として出前講座に取り組む方向性で調整を行う。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7人	4人	6人		17人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	10人	2人	5人		17人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	8人	3人	6人		17人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7人	5人	5人		17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域での会議を通じて保健師や地域包括支援センターの方々との関わりを持つことができた。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

外部への露出や企業の中での事業所としてのアピールの方法、企画実行記録発信のサイクルがまだ成立していないところがあり、地域住民の方々との交流があまりできなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

民生委員の方々を通じて地域での出前講座に取り組み、交流を図る。
地域行事への参加、地域ケア会議への積極的な参画を通じて地域に根ざした支援体制を形成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日 金曜日

7. 運営

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本菜々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	12人	2人		17人

前回の改善計画	運営推進会議を通じて職員が事業所運営に関心を持ち、積極的に意見を出せる環境を整える。職員の改善提案を積極的に採用し、成果に対して評価やフィードバックを行いながら、全員が職場貢献を実感できる職場環境を構築すると共に利用者様により良いサービスを提供することを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議を活用し、職員が事業所運営に関心を持ち、意見を出しやすい環境整備に取り組みました。職員からの改善提案を積極的に採用し、提案内容や実施結果に対して評価やフィードバックを行うことで、職員が職場への貢献を実感できる体制を構築しています。その結果、職員の主体性が向上し、職場環境の改善につながるとともに、利用者様により良いサービスを提供できる体制づくりが進んでいます。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2人	9人	6人		17人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	10人	3人		17人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	9人	5人		17人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3人	6人	8人		17人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者様やご家族様からの貴重な意見を共有し対策や支援に繋げることができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
外部にアピール出来るような企画がなかったため事業所のことをより知ってもらうためのアピールできる企画を検討していきたい地域の高齢化率上昇や見学手段の課題を踏まえ事業所から地域のいきいきサロンや行事に出向き、介護に関する出前講座を実施する。直接地域との関わる機会を増やし、事業所の役割や強みを知ってもらう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所の運営方針について職員と共通認識を持ち、意見や苦情は透明性を確保して迅速に反映する。また、サービス提供中のミスやヒヤリハット、事故などは「見える化」し、職員間で共有することで同様の事案が発生しない体制を徹底する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日金曜日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 服部和幸(管理者・計画作成者)、園原里英(看護師)、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本葉々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	10人	1人		17人

前回の改善計画

今後もリモート研修やスキルアップに繋がる研修・懇談会等に参加し、各職員のスキルアップに努めていく。現在は地域連絡会に相応するものがないこともあり、地域資源の勉強会の際に開催するなど行政に確認を行ないながら今後の対応を検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修への参加は全職員定期的に参加できている。現場にどう落とし込んでいけるかが課題であることを感じた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6人	8人	3人		17人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	8人	4人		17人
③ 地域連絡会に参加していますか	10人	7人			17人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	9人	7人	1人		17人

できている点

研修に参加し知識や技術を学び、サービスの質の向上を目指している。事故やヒヤリハットがあった際は対策会議をおこない再発防止に努めることができている。

できていない点

知識の定着と継続性が課題といえる。研修内容の周知はできているが、継続したリスクマネジメントの点では不十分だと感じるがあった。

次回までの具体的な改善計画

リモート研修等、全職員が年1回は参加できるように業務調整を行ないスキルアップに努めていくとともに、回覧ファイルにて継続的に閲覧し知識の定着を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月21日金曜日

9. 人権・プライバシー

メンバー 服部和幸（管理者・計画作成者）、園原里英（看護師）、相崎実、成清亮太、山崎真由美、本村直紀、田上恭子、増田侑子、田中明子、高瀬絵理子、川上優典、織田堯、諏訪智美、宮川玲奈、隅川絢子、山本葉々子、關本美佐子、澤村俊子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	11人	6人			17人

前回の改善計画

感情的な声かけ、口調にならないよう声かけに注意し、スピーチロックや不適切な声かけをしている職員にはその場で注意を行っていく。具体的な声かけ勉強会の開催。

前回の改善計画に対する取組み結果

定期的な研修を開催し理解を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	12人	5人			17人
② 虐待は行われていない	12人	5人			17人
③ プライバシーが守られている	11人	6人			17人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1人	7人	9人		17人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	10人	7人			17人

できている点

トイレ介助などプライバシーに配慮したケアや個人情報の取り扱いはできている。

できていない点

余裕がないときは落ち着いた声かけができず、利用者に対する声かけに配慮が不足していると感じる場面があった。

次回までの具体的な改善計画

声かけの言い回しや具体的な説明をし、理解を得られるような声掛けを行っていく。声かけや言い換えの勉強会を行い、くり返し職員1人1人の意識づけを行っていく。